LiPro評価基準（小学生向けの通信教育）| 2025年2月調査（2026年10月 一部追加）

LiProでは小学生向けの通信教育のランキング作成において、評価基準を作成いたしました。

当サイトは広告収入を元に運営されています。ユーザーの皆様に公正、かつ、正確な情報をお届けするために、広告にあたる商品・サービスには「PR」や「スポンサードリンク」などの記載をすることを遵守しています。「選び方」で紹介している情報は、必ずしも個々の商品の安全性・有効性を示しているわけではありません。商品を選ぶときの参考情報としてご利用ください。

調査概要

調査方法	調査した小学生向けの通信教育を確認
調査実施期間	2025年2月18日～2月19日 ※デキタス：2026年10月19日（同じ評価基準で追加調査）

1. 評価基準の設定の流れ

評価基準の設定の流れは以下の通りです。

1. 各小学生向けの通信教育の公式サイトを確認
2. 評価基準の項目について調査
3. 評価基準をもとに評価をする

1-1. 各小学生向けの通信教育の公式サイトを確認

調査する小学生向けの通信教育の公式サイトにて、サービスの内容等を確認しました。

1-2. 評価基準の項目について調査

評価基準(「月額料金」「カリキュラムの難易度」「教材」「対応科目」「サポート内容(子供向け)」「サポート内容(保護者向け)」)の6項目に関して、小学生向けの通信教育の公式サイトの情報を調査しました。

1-3. 評価基準をもとに評価をする

調査した情報を確認して、評価基準をもとに評価をしました。

2. 評価基準

評価基準(「月額料金」「カリキュラムの難易度」「教材」「対応科目」「サポート内容(子供向け)」「サポート内容(保護者向け)」)の6項目において、1～5までの評価基準を設定いたしました。

項目	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5
月額料金	10,000円以上	10,000円以内	5,000円以内	3,000円以内	2,000円以内
カリキュラムの難易度	学校での学習内容をさらに簡略化した内容で、基礎中の基礎に重点を置いている。学習の遅れがある子供や、学び始めたばかりの低学年向けに適している。	学校での学習内容を中心に構成されており、復習や準備を目的としたカリキュラムとなっている。学力を補完したい子供や、基礎的な学力の習得を目的とする家庭に適している。	学校で学ぶ内容に沿ったレベルで、学校の授業内容の補完として適している。堅固な学力層の子供が無理なく耐えられる内容で、特に進度調整を必要としない。	カリキュラムの内容がやや難しめで、学校で学ぶ内容の応用問題や高さである。中学受験準備や学力向上を目指す子供に適している。	中学受験や難関校合格を目指す子供向けに設計され、学校の学習内容を大幅に超えた範囲が含まれている。特に思考力・応用力をうまく問題が多く、自主的な学習姿勢が強く求められる。
教材	主要教科書が十分にカバーされておらず、バランスが悪い。伝統的な紙教材のみで、柔軟な学習方法が提供され	特定の本文に内容が偏っていて、他の本文が不足している。主に紙の教材に依存しており、メディア活用がほとんど	一部の教科書の学習範囲が狭い、または特定の教科書に重点が置かれすぎている。基本的な教材はあるが、	ほとんどの教科書がバランスよく学べるが、特定の教科書で少し内容が薄い部分がある。動画やインタラクティブ教	主要教科書が全て網羅されており、バランスをよく進められる。子どもが必要な知識をしっかり身に付けられる。多様な

	ていない。	ない。	学習方法が限定されている。	材があるが、やや少ないと感じる部分もある。	メディアやインタラクティブな教材が豊富に揃っており、子どもの学習スタイルに合わせて選べる。
対応科目	国語と算数の教材が十分でなく、内容が浅い。理科や社会がほとんど知られておらず、学習内容が限定されている。	国語と算数の基礎はカバーされているが、教材の量や質に不満が残る部分がある。理科や社会の教科書が十分にカバーされておらず、内容がやや不足している。	国語と算数の基本的な学習内容は網羅しているが、応用的な問題が少ない。理科や社会の基本的な内容は網羅されているが、教材がややシンプルで深さが欠けている。	国語と算数の教材が大半の学習内容をしっかりカバーしています、十分な補強ができる。理科や社会の基礎から応用までカバーされているが、実践的な学習要素はやや少ない。	国語と算数の教材が非常に充実しており、基礎から応用まで幅広くカバーされている。理科や社会が豊富に提供され、実験や観察、調査などの実践的な学習も可能。
サポート内容（子供向け）	質問サポートはほとんどなく、子どもが独力で解決する必要がある。フィードバックがほとんどなく、成績や進捗状況が把握できない。	質問対応はあるが、対応に時間がかかる。フィードバックが遅れがちで、学習に対する改善提案が少ない	質問ができるが、わずかまでに少し時間がかかることがある。フィードバックはありますが、不定期であるため、学習の進捗が把握しにくい部分がある。	比較的迅速に質問対応ができ、適切な解説を受けられる。定期的なフィードバックがあり、子どもの理解をしっかり確認できる。	いつでもすぐに質問でき、丁寧でわかりやすいフィードバックが得られる。毎回の学習に対してタイムリーにフィードバックがあり、成績や理解度に基づいたアドバイスが提供される。
サポート内容（保護者向け）	進捗状況が全く確認できない、保護者が子どもの状況を把握する手段がない。保護者向けのサポート窓口はほとんど機能していない。	進捗状況の確認が正しく、定期的な報告がないか、遅れることが多い。問い合わせができるが、対応が一時的に、待たされることが多い。	学習進捗を確認するツールはあるが、内容が限定的で、深い分析はできない。連絡は取れるが、対応が遅かったり、対応手段が限定的であったりする。	定期的な進捗報告があり、基本的な状況を把握できるが、細かい部分は手動で確認する必要がある。基本的な連絡手段が整備されており、迅速な対応が可能ですが、相談は少し時間がかかることがある。	オンラインで進捗状況を確認でき、詳細なレポートが提供される。電話、メール、オンラインチャットなど多彩な手段で迅速に対応してもらえ、相談も定期的にできる

2-1. 月額料金

小学生向けの通信教育ごとに月額料金を5段階で評価しました。

2-2. カリキュラムの難易度

小学生向けの通信教育によってカリキュラムの難易度が異なります。中学受験や難関校合格を目指す子供向けから、学校での学習内容をさらに簡略化した内容までの難易度を評価の基準としました。

2-3. 教材

小学生向けの通信教育によって、教材に特徴があります。主要教科書が全て網羅されており、バランスよく進められるかどうか、多様なメディアやインタラクティブな教材が豊富に揃っているかどうかを評価の基準としました。

2-4.対応科目

小学生向けの通信教育によって、対応している科目が異なります。国語と算数の教材が充実しており、基礎から応用まで幅広くカバーされているかどうか、理科や社会が豊富に提供され、実験や観察、調査などの実践的な学習も可能かどうかを評価の基準としました。

2-5. サポート内容（子供向け）

小学生向けの通信教育によって、子供が受けられるサポート内容が異なります。いつでもすぐに質問でき、丁寧でわかりやすいフィードバックが得られるかどうか、成績や理解度に基づいたアドバイスが提供されるかどうかを評価の基準にしました。

2-6.サポート内容（保護者向け）

小学生向けの通信教育によって、保護者が受けられるサポート内容が異なります。オンラインで進捗状況を確認でき、詳細なレポートが提供されるかどうか、電話、メール、オンラインチャットなど多彩な手段で迅速に対応してもらえ、相談も定期的にできるかどうかを評価の基準としました。

3. 調査した小学生向けの通信教育

今回調査したのは下記の小学生向けの通信教育です。

小学生向けの通信教育	公式サイト
タブレット｜スマイルゼミ	公式サイト

タブレット・紙教材｜進研ゼミ小学講座	公式サイト
映像授業｜東進オンライン学校 小学部	公式サイト
紙教材・タブレット｜Z会の通信教育	公式サイト
紙教材・デジタル教材｜小学ポピー	公式サイト
デジタル教材｜すらら	公式サイト
紙教材・デジタル教材｜名探偵コナンゼミ	公式サイト
紙教材・タブレット｜ワンダーボックス	公式サイト
紙教材｜ブンブンどりむ	公式サイト
タブレット｜RISU算数	公式サイト
学習アプリ｜うんこゼミ	公式サイト
デジタル教材｜天神	公式サイト
デジタル教材｜デキタス	公式サイト
紙教材｜がんばる舎	公式サイト
タブレット・映像授業｜スタディサプリ	公式サイト